

京都労働研

No. 3

連絡先
京都市北區小山
中瀬町14の7
中村太郎

(一九七〇年四月二二発行)

連続講座、オ二回を南く

「団結の中身が焦点に」

四月十九日、オ二回連続講座は「組紐労働者の現況」と題して、参加者全員による報告と討論を行った。報告の中からは

- 一、分裂組合におけるオ一、オ二組合の体質はかわりがないのではないか。
- 二、日共の制圧下における少数派の活動は……
- 三、思想信条をのりこえた団結はありえるのか
- 四、企業のワウ内で企業をのりこえようとしているのではないか
- 五、組合の統一は分裂過程を通じなければありえないのではないか

六、組合員の活動は組合の活動の中で圧殺されているのではないか

七、学生運動を自己の向題としてくみこまずに切りすぎる指導者の向題は、同時に反帝労組にも向われるのではないか

八、従業員と組合員は全くことなるものではないか、

九、暴力の向題を根本的に検討する必要がある。

などなどの向題が出され、討論を行いました。内容については詳細にわたって別にあしらせします。

次回、「戦後労働運動史」

南会時刻を次回に限りを変更します。

南会、午後六時 九時

※理由、「安保、沖縄斗争勝利、自衛隊解体、四、

二六全関西総決起集会とデモが一昨より大阪大寺前公園で行われる。できるだけ参加できるように

